

独立行政法人理化学研究所・仁科加速器研究センターと核物理研究センターは、クォーク多体系であるハドロンの構造と性質の解明を目的とする共同研究をかねてより行ってきた。

平成26年度より新規概算要求・特別経費（プロジェクト分）で予算措置された「物質の階層構造解明事業」が開始されるにあたり、その研究基盤である新レーザー電子光ビーム施設・LEPS2を早急に整備するため、人的体制の強化が不可欠となった。

国際共同研究グループによるLEPS2検出器開発の中核として、理研・仁科センターの常勤研究員をクロスアポイントメントで本学に迎えることにより、LEPS2の共同研究拠点としての機能が格段に強化されるため、この度、契約を締結することになった。

今後も両者が緊密に連携することにより、核物理研究センターが推進するハロン構造研究と理研・仁科センターが主導するハドロンの性質の研究が飛躍的に発展していくことが見込まれる。